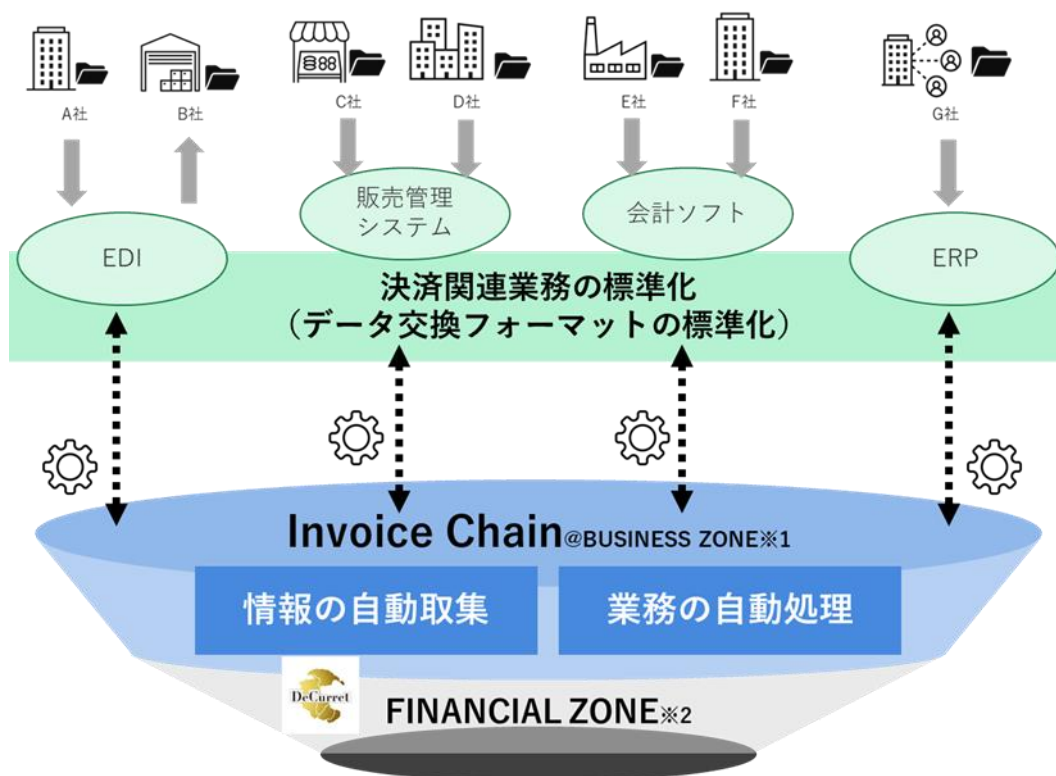


デジタル通貨フォーラムのインボイスチェーン分科会に参画 ～ブロックチェーン技術を活用し、業界標準システムの構築および デジタル通貨による課題解決を議論・検討～

財務・会計システムおよび経営情報サービスを開発・販売する株式会社ミロク情報サービス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：是枝 周樹、以下「MJS」）は、株式会社ディーカレットDCP（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：村林 聡）が事務局を務める「デジタル通貨フォーラム」において2024年5月に設立予定のインボイスチェーン分科会に新規参画いたします。

同分科会を通じて、社会課題を解決するデジタル通貨 DCJPY（仮称）を活用した商取引のDX 革新を目指し、大手会計システム・ERP・EDI 企業とともに、議論・検討を行ってまいります。

■ インボイスチェーン分科会のグランドデザイン



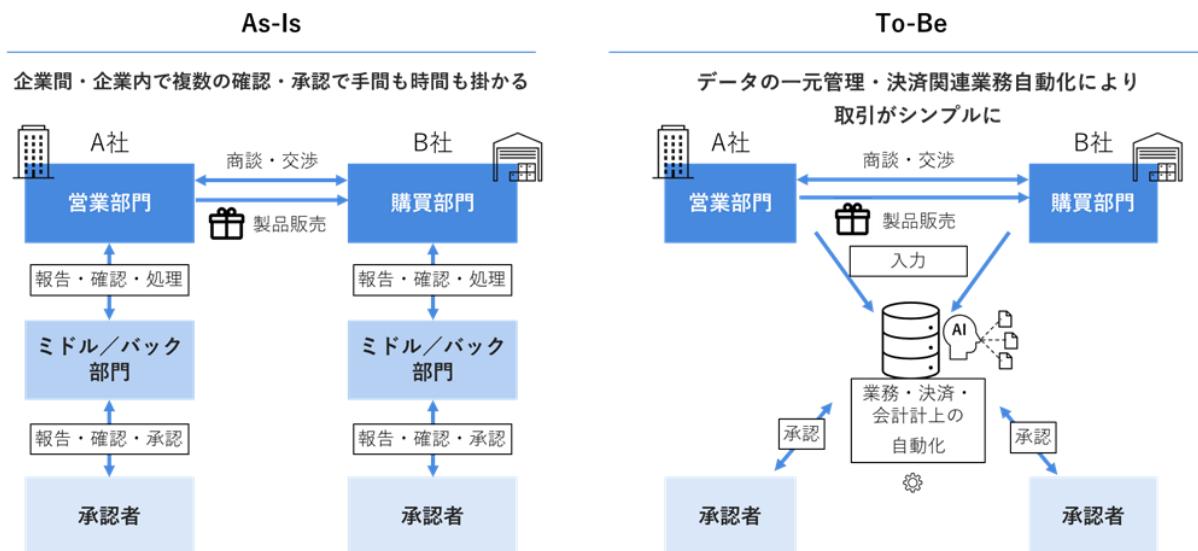
※1 BUSINESS ZONE: DCJPY プラットフォームにおける商流を担うブロックチェーンネットワーク

※2 FINANCIAL ZONE: DCJPY プラットフォームにおける金流を担うブロックチェーンネットワーク

■ デジタル通貨フォーラムについて (<https://www.decurret-dcp.com/dc-forum/>)

デジタル時代にふさわしい金融インフラを構築し経済・産業の効率化と発展に貢献すべく、様々な企業/団体等と共に、社会課題を解決するデジタル通貨 DCJPY(仮称)の価値や実用化を検討しています。現在、100 を超える企業・自治体・団体が参加しています。

■ インボイスチェーンによる商取引業務のパラダイムシフト



■ インボイスチェーン分科会について

日本における法人企業間精算は、請求・決済・消込・会計のデジタル化サービスにおいて、支払企業と請求企業、それぞれの社内業務の効率化に特化したサービスがこれまで発展してきました。また、現在、企業間の情報交換の効率化のために業界別標準 EDI、PEPPOL などの規格が整備されてきています。次のフェーズとしてはこれまで社内業務のデジタル化で企業が蓄えてきたデータと整備されてきている EDI や PEPPOL といった既存システムを活用し、業務そのものをプログラムによって無人で処理まで行う仕組みが求められることとなります。

今日、人口減少・技術革新・顧客ニーズの多様化により、法人企業間精算の効率化や国際的なデジタルインボイス対応の要求があります。インボイスチェーン分科会が目指す法人企業間精算における業界標準システムの構築は、導入済みの既存システムを活用したまま必要な情報の自動収集・処理を行うことにより、法令対応にかかる個社システムへの改修費用の削減や、取引先との債権債務残高の一致確認等の確認作業、社内他部署との情報連携に係る人手や時間を削減することを可能とします。

また、この取り組みが実現することで、AI 活用による商取引分析やマーケティング活用、取引情報を活用した新たな金融サービスの創出をはじめ、業界全体を対象としたシェアードサービスビジネスの創出など日本経済を次のステージへ引き上げるあらたなビジネスが次々と出現することとなります。

インボイスチェーン分科会では、サイロ化している各会計サービスや決済サービスの統一規格の検討や、法人企業間決済にかかる課題について、ブロックチェーン技術を活用した業界標準システムの構築およびデジタル通貨による課題解決が可能かを議論・検討を行っていきます。

■ **株式会社ミロク情報サービス(MJS)について** (<https://www.mjs.co.jp/>)

全国の会計事務所と中堅・中小企業に対し、経営システムおよび経営ノウハウならびに経営情報サービスを提供しています。現在、約8,400の会計事務所ユーザーを有し、財務会計・税務を中心とした各種システムおよび経営・会計・税務等に関する多彩な情報サービスを提供しています。また、中堅・中小企業に対して、財務を中心としたERPシステムおよび各種ソリューションサービスを提供し、企業の経営改革、業務改善を支援しており、現在、約10万社の中堅・中小企業ユーザーを有しています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ミロク情報サービス

社長室 経営企画・広報 IRグループ 宮城・安藤

Tel: 03-5361-6309

Fax: 03-5360-3430

E-mail: press@mjs.co.jp